

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（長浜地域）第1回地域ワーキング

議事要旨

■開催日時：平成24年8月8日（水） 14時00分～16時00分

■開催場所：湖北合同庁舎 1階第1会議室

■出席者：【公募委員】 関谷委員

【住民代表】 濱崎委員（座長）、漣委員、笹原委員、山口委員

【関係行政機関】 池田委員、栗田委員、清水（清）委員、清水（幸）委員、藤居委員

（五十音順）

1. 議事概要

- （1）開会挨拶（森野所長）
- （2）委員紹介
- （3）地域ワーキング設置要領の確認、座長選出
- （4）地域ワーキング
- （5）今後の予定（第2回地域ワーキングの案内）
- （6）閉会挨拶（村山次長）

2. 議事要旨

2-1. 道路整備アクションプログラム2008等の道路整備による地域の変化

- ・5年間の道路整備により、各所に効果は出てきているのではないか。
- ・近年、道路予算が減少していることもあり、5年程度では整備効果を実感できるような変化はなかなかない。部分的な開通ではなく、全線開通するようなことがないと整備効果はなかなか出ない。

2-2. 長浜地域における道路の問題・課題

- （1）湖北地域のネットワークについて
 - ・湖北地域は、南北の道路はあるが、東西を結ぶ道路がない。
 - ・合併市町村内の交流連携を促進する道路整備が進んでいない。
 - ・一桁国道で2車線区間が残されているために混雑し、迂回交通が生活道路へ流入してしまっている。
 - ・大震災や原発事故等が発生した際の広域的な避難道路の整備が必要。
- （2）交通事故の状況等について
 - ・長浜管内では、人身事故の約4割が県管理道路で発生している。
 - ・事故の中には、道路構造に起因すると想定されるものもある。
 - ・事故に至らなかったものの管内の幹線道路で逆走が発生した箇所があるため、是非対策をお願いしたい。
 - ・交差点で常時左折化できる場所はしてほしいという意見を良く聞く。

(3) 歩道整備について

- ・管内には、歩道のない県道が残されているが、危険だという話を良く聞く。そうした箇所への歩道整備をお願いしたい。
- ・地域の中には、問題のある通学路がまだまだ残されている。

(4) 自転車の安全性について

- ・高齢化に伴い自転車の利用が増加することも想定されるため、自転車が安全に走行できる道路を整備していくことが必要。

(5) 観光振興について

- ・小谷城は全国級の観光施設であることから、観光振興の観点から、スマート IC が開通した際には、周辺の道路と合わせてネットワーク化していくことが必要。

2-3. 長浜地域の道路整備を考えていく上で必要なこと

- ・今回のアクションプログラムの見直しにあたっては、前プログラムの積み残しをスライドさせるのではなく、震災や原発事故、市町村合併の進展等、新たに生じた課題を踏まえた事業を考えてほしい。
- ・道路利用者から見れば、国道・県道・市町道という管理区分の意識はない。各管理者の連携をお願いしたい。
- ・地域の核となる道路の整備をしっかりと進めてほしい。
- ・将来的な県民の移動パターンの変化に基づく需要変化を想定していく必要がある。
- ・道路の寸断により地域が孤立しないような代替路が必要。

以 上

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（長浜地域）第1回地域ワーキング

議事要旨（事務局用）

■開催日時：平成24年8月8日（水） 14時00分～16時00分

■開催場所：湖北合同庁舎 1階第1会議室

■出席者：【公募委員】 関谷委員

【住民代表】 濱崎委員（座長）、漣委員、笹原委員、山口委員

【関係行政機関】 池田委員、栗田委員、清水（清）委員、清水（幸）委員、藤居委員

（五十音順）

1. 議事概要

- （1）開会挨拶（森野所長）
- （2）委員紹介
- （3）地域ワーキング設置要領の確認、座長選出
- （4）地域ワーキング
- （5）今後の予定（第2回地域ワーキングの案内）
- （6）閉会挨拶（村山次長）

2. 議事要旨

2-1. 道路整備アクションプログラム2008等の道路整備による地域の変化

- ・5年間の道路整備により、各所に効果は出てきているのではないかと。（6：関谷委員）
- ・近年、道路予算が減少していることもあり、5年程度では整備効果を実感できるような変化はなかなかない。部分的な開通ではなく、全線開通するようなことがないと整備効果はなかなか出ない。（45：藤居委員）

2-2. 長浜地域における道路の問題・課題

- （1）湖北地域のネットワークについて
 - ・湖北地域は、南北の道路はあるが、東西を結ぶ道路がない。（6：関谷委員）
 - ・合併市町村内の交流連携を促進する道路整備が進んでいない。（41：栗田委員）
 - ・一桁国道で2車線区間が残されているために混雑し、迂回交通が生活道路へ流入してしまっている。（41：栗田委員）
 - ・大震災や原発事故等が発生した際の広域的な避難道路の整備が必要。（41：栗田委員）
- （2）交通事故の状況等について
 - ・長浜管内では、人身事故の約4割が県管理道路で発生している。（17：清水（清）委員）
 - ・事故の中には、道路構造に起因すると想定されるものもある。（17：清水（清）委員）
 - ・事故に至らなかったものの管内の幹線道路で逆走が発生した箇所があるため、是非対策をお願いしたい。（10：山口委員）
 - ・交差点で常時左折化できる場所はしてほしいという意見を良く聞く。（10：山口委員）

(3) 歩道整備について

- ・管内には、歩道のない県道が残されているが、危険だという話を良く聞く。そうした箇所への歩道整備をお願いしたい。(39：漣委員)
- ・地域の中には、問題のある通学路がまだまだ残されている。(45：藤居委員)

(4) 自転車の安全性について

- ・高齢化に伴い自転車の利用が増加することも想定されるため、自転車が安全に走行できる道路を整備していくことが必要。(45：藤居委員)

(5) 観光振興について

- ・小谷城は全国級の観光施設であることから、観光振興の観点から、スマート IC が開通した際には、周辺の道路と合わせてネットワーク化していくことが必要。(2：漣委員)(6：関谷委員)

2-3. 長浜地域の道路整備を考えていく上で必要なこと

- ・今回のアクションプログラムの見直しにあたっては、前プログラムの積み残しをスライドさせるのではなく、震災や原発事故、市町村合併の進展等、新たに生じた課題を踏まえた事業を考えてほしい。(45：藤居委員)
- ・道路利用者から見れば、国道・県道・市町道という管理区分の意識はない。各管理者の連携をお願いしたい。(15：池田委員)
- ・地域の核となる道路の整備をしっかりと進めてほしい。(41：栗田委員)
- ・将来的な県民の移動パターンの変化に基づく需要変化を想定していく必要がある。(48：濱崎委員)
- ・道路の寸断により地域が孤立しないような代替路が必要。(66：栗田委員)

以 上